

令和8年3月1日

関係者様

世田谷区立下北沢小学校

校長 大字 弘一郎

令和7年度 学校自己評価報告書

本校では、児童・保護者・地域の皆様を対象に学校評価アンケートを実施し、教育活動全般について検証いたしました。回収率は以下のとおりです。

- ・児童（1～4年）98.3%
- ・児童（5・6年）89.3%
- ・保護者 84.5%
- ・地域 93.8%

いずれも高い回収率となり、本校の教育活動に対する関心の高さと、温かいご協力に深く感謝申し上げます。いただいたご意見をもとに成果と課題を整理し、今後の改善につなげてまいります。

1 児童アンケートより

「学校が楽しい」と回答した児童は9割に達し、学校生活への満足度は引き続き高い水準を維持しています。日々の授業づくりに加え、行事や縦割り活動などを通して児童同士の関わりを大切にしてきたことが、安心して過ごせる学校環境づくりにつながっているものと受け止めています。

また、学校行事において達成感を感じている児童が増加しました。目標を明確にし、振り返りの時間を確保してきたことが、成長の実感につながったと考えられます。

一方で、中学校との交流や情報提供に関する項目では、前年度より肯定的回答が減少しました。交流の機会は設定しているものの、その意義や見通しが十分に共有されていなかった可能性があります。来年度は、交流内容の充実に加え、事前・事後指導を丁寧に行い、進学への期待や安心感を高められる取組へと改善してまいります。

2 保護者アンケートより

学校運営や教職員への信頼に関する項目では、高い評価をいただきました。日頃の連絡や面談、行事公開等を通して相互理解を図ってきたことが一定の成果につながっていると考えております。

一方、学習指導に関する一部項目では、昨年度をわずかに下回る結果が見られました。授業のねらいや評価の観点が十分に伝わっていない部分があったことが要因の一つと分析しています。今後は、授業内容や評価方法をより分かりやすくお伝えするとともに、学習の様子を具体的に発信するなど、情報共有の在り方を改善してまいります。

3 地域アンケートより

学校の安全面については、すべての項目で肯定的評価が100%でした。日頃からの見守り活動や安全対策へのご理解とご協力の賜物であり、地域との連携の成果であると認識しております。

また、学校行事への理解や協力体制についても向上が見られました。今後も地域とのつながりを大切に、開かれた学校づくりを一層推進してまいります。

今後も、学校だよりやホームページを通じて教育活動の成果や課題を積極的に発信し、継続的な改善に努めてまいります。引き続き、本校教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。